

あきは 区役所だより

2025年(令和7年)

9月7日

毎月第1・3日曜日発行

第442号

里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち

編集・発行 新潟市秋葉区役所(制作:地域総務課) 〒956-8601 新潟市秋葉区程島2009番地 電話 0250-23-1000(代表)

区の人口

人口: 73,413 人 (-32)
男: 35,352 人 (-8)
女: 38,061 人 (-24)
世帯数: 31,143 世帯(+16)
令和7年7月末現在(カッコ内は前月比、住民基本台帳による)

中学生とともに「今」そして「これから」を考える

Akiha教育懇談会

秋葉区では、「こども真ん中のまちづくり」の実現に向けて、学校と地域が協力して活動に取り組んでいます。地域総掛かりで、明るい未来を共に築いていくために、一人一人に何ができるかを考える「Akiha教育懇談会」を開催しました。今号では中学生含む約160人が参加した当日の様子を紹介します。

問い合わせ 地域総務課企画グループ(☎25-5672)

第1部 「中学生から発信！私たちの地域自慢 + 地域の未来に望むこと」

第1部では、区内全6中学校から代表の生徒たち自身の言葉で、地域の自慢や将来どんな地域にしていきたいかが発表されました。発表の中では、ただ要望を出すだけでなく、現状を分析し、実現するためには自分たちに何ができるか、大人にどんな形で協力してほしいかなど、論理的で一貫性のある提言がされました。

新津第一中学校

大人にできること、
中学生にできること



新津第二中学校

部活動・ボランティアを
通して地域の支えに!



新津第五中学校

全校生徒にアンケート
を取りました



小合中学校

ワードクラウドを使って
分析しました



金津中学校

人が集まるまちづくり
地域の未来への提案



小須戸中学校

大人たちと自分たちで
創り上げるまちづくり



本番に向けて
準備・練習頑張りました!



第2部 「今日は中学生真ん中で考えよう!」

第2部ではコミュニティ協議会、自治協議会、各中学校の教職員など大人たちの中に、中学生が加わってグループワークを行いました。さまざまな立場の皆さんが、地域の長所をどう伸ばしていくか、中学生が発表した未来に望むことにはどんな取り組みが必要になるかについて活発な議論が交わされました。



参加者の感想

- ・グループワーク全体を通して良い空気が出ていた。中学生が加わることで話し合いに活気が出た。
- ・現状でもまだまだ地域の魅力を発揮しきれていない。今あるものも最大限活用していきたい。
- ・地域の強みや伝統文化が廃れてしまわないように文化の継承と保存をしていくとともに、SNSを通じた魅力発信でより多くの人に知らせていきたい。

講師の大正大学 金子准教授の講評・総括

ITやデジタル技術が発展し、人と人との関わりが少なくなっていく中で、地域と接する機会や場所、リアルなつながりをどれだけ保てるかが今後のまちづくりの価値になっていきます。グループワークのやりとりを見ていて、そういったアナログな提案が多かったことが嬉しかったです。こどもたちは未来のまちづくりの担い手となるとともに、今のまちづくりと一緒に進めていくパートナーです。目指す地域の未来像の実現に向けて、今後も活動を進めていきましょう。

収束シート「今日は中学生が真ん中」 3 班

目指す地域の未来像

地域の魅力を活かして
世代をこえた交流ができる

実現に向けた取組・アイデア

鉄道を活かした観光、グルメ
地域でスポーツ大会
公園、児童館等の充実

収束シート「今日は中学生が真ん中」 15 班

目指す地域の未来像

若者が住み続けたいと思う地域

実現に向けた取組・アイデア

交通の便をよする・WiFi完備の施設
魅力あるイベント→まつり・花・SNSで情報発信!
空き地、空屋の有効活用→地図作り、アピール
(貸し出し) 伝統文化を学ぶ(部活)
公園を作る

収束シート「今日は中学生が真ん中」 23 班

目指す地域の未来像

現状の維持・継続

“今のままでも住みやすい。満足している” “治安よく子育てしやすい”
“小須戸のよさを生かす”

実現に向けた取組・アイデア

公共交通機関の充実……住んでいる人々、様々な世代の人の行き来が
より便利に (通学、通勤、買い物、通院)
顔の見える関係づくりができる交流……自治会、地域でのつながり、生かせる場所
地域の中に、みんなが使え、居場所
空きスペース、空室を有効活用、
子どものニーズを、もっととらえて、
みんなが住みたい!